

第3回議会報告会 意見交換会報告（ご意見等）

当日はお忙しい中、第3回議会報告会にご来場くださり、ありがとうございました。

報告会の第2部では、初めての試みとして、住民皆様との意見交換会を実施いたしました。不備な点や改善すべき課題など、厳しいご意見もいただきましたが、内容を真摯に受け止め、次の報告会に向けて改善できるよう務めてまいります。何よりもこの報告会を継続することが大切だと考えており、次回も皆様のご参加を心よりお待ちしております。

以下に意見交換会で出されたご意見をお知らせいたします。

【意見交換会でのご意見】

義務教育学校について

- 小中一貫教育や義務教育学校のメリットが当初わからなかったが、現在の小学校6年での区切りは子供の成長に合わせた、これからの教育としては馴染まないと感じている。
- 今の少人数学級が好ましいのに、義務教育学校となることにより、また以前のように人数が増えるのは望まない。
- 義務教育学校制度の目的がよく判らない。「なるほど」と思うような説明をしてほしい。
- メリット、デメリットはどのようなものか？
- 義務教育学校がどのようなものか全くわからない。
- タウンミーティングばかりでなく、希望する地域には出向いて説明すべきである。
- 南小学校や南中学校では、当面施設分離型と聞いているが、今までの研修は施設一体型である。分離型も研修視察してほしい。
- 先生方の仕事量(部活動も含む)が増加すると思われるが、充分配慮してほしい。
- 現場の先生の声をしっかり聴いてほしい。
- ハード面からではなく、ソフト面の現場の先生の意見を聴き、また子供の意見も聴いてほしい。
- 議会としても町からの提案を受けるばかりでなく、議員提案をしてほしい。
(義務教育学校に限定していない)
- 一部の地域から通学路について、遠くなるなどの苦情が出ているが、通学路の問題は今に始まったものではなく、以前からあることで町全体で考えるべきである。
- 給食に低学年と高学年の違いはあるのか？
- 議会としての見解は？（受け止め方）
- 義務教育学校（北）は、王寺中学校の敷地で大丈夫なのか？

防
災
に
つ
い
て

- 昨年10月の台風21号での被害に対して、町議会としてどのように考えているのか。町側の提案に対する賛否を出すだけではダメである。
- 台風21号の被害を受けて考えなければならないことは、減災・防災・情報の伝達方法の確立が重要である。自治会長や民生委員への伝達方法（体の不自由な方への伝達方法も含めて）も確立が必要。
- 地域での防災対策（行動）には限度があり、町でそれらのフローチャートを作成してほしい。
- 町では、地区の自主防災活動を推進しているが、その活動状況は各地区でマチマチである。各地区の活動状況の実態調査を行い、情報共有、連携が必要である。
- 自主防災組織の強化と連携を深める。
- 今回の災害で大和川や葛下川の危険水位をオーバーしたが、役場の重要な書類などが保管できるようになっているのか？
- 今回の水害でも大和川の水位が上がり、今後洪水の危険度が大きくなってくる。大和川の亀の瀬部分が狭くなっており、国や大阪府と協議・連携して河川断面など大きくするなど、河川改修をしてほしい。
- 議会も町政に賛同するものがあれば、活動やアクションを起こすことが大事。
- 防災無線が家の中では殆ど聞こえない。聞こえるように改善してほしい。
（葛下地区）
- 災害時の食料確保や復旧作業など、民間の企業の協力を得るため、協定を締結しておく必要がある。
- 今回は水害被害であったが、地震にも対処できるようにしておく必要がある。
- 要支援者の名簿の取り扱いについて
- 町の主導で、信頼できる中高年の防災意識の向上を図り、役割を果たせる力を身につけさせてもらいたい。
- 防災計画を作成する上で、地理的なことも考慮する。
- 会員相互の「助け合い」「絆」のある「心温まる自治会」を目指し、ハード面、ソフト面共に取り組んでいく。